



▲集合写真

▼テープカットの様子



## CONTENT

村で初めての子育て支援拠点施設「子育て広場いまきら園」が4月から宝島で始まりました。（表紙）  
詳しくは>>2 ページへ

今月号は議会だよりも掲載されています。

詳しくは>>26 ページへ

# 宝島で「子育て広場 いまきら園」が開園

10名の園児を迎えて、4月7日「子育て広場いまきら園」の開園・入園式が行われました。

式は園児入場から始まり、子どもたちは名前を呼ばれると大きな声で返事をし、いまきら学級のときから練習してきた歌やダンスを披露してくれました。会場の皆さんからは、多くの拍手をいただき、思い出に残る素敵な式になりました。

園では、常勤する保育専門員2名と保育補助員が、1歳から未就学児までの乳幼児を預かり、幼児期の教育や子育て支援の場を提供していきます。



島民の方々の手拍子にあわせて  
保護者と一緒に園児入場



演奏にあわせ、歌やダンスを  
一生懸命披露してくれました



## 現在のいまきら園の様子紹介

開園後のいまきら園の園児の様子を紹介します。園児たちは元気いっぱい遊んでいます！

▼粘土で工作中！何ができるかな？



▼質問タイム♪



## 諏訪之瀬島産大名タケノコ

### 初出荷セレモニー開催

諏訪之瀬島産の大名タケノコの初出荷セレモニーが11日、鹿児島市東開町の中央卸売市場にて開催されました。今回の出荷では生産者5名の総計約170キロの大名タケノコが並びました。セレモニーではタケノコの味噌汁、ゆがいたタケノコ、タケノコの丸焼き等のタケノコ料理を提供し、多くのセレモニー参加者に振る舞われました。特に人気だったのは、タケノコを丸ごと焼いたタケノコの丸焼きで、「タケノコを丸ごと食べれるなんて贅沢だねー！」「タケノコの芳しい香りが楽しめるー！」等の高評価を頂きました。一般参加者や青果業者の方々には「いつもは加工されたものしか食べないから、新鮮なタケノコがこんなにおいしいとは思わなかったー！」「香りも味も最高ー！」と他とは一味も二味も違う、春の香り漂うタケノコに舌鼓を打っていました。



▲セレモニーで挨拶をする村長

▼料理提供の様子



## トカラ列島フェアを開催しました！

トカラ列島フェアをフレッシュアリーナしろやまアミュプラザ店で5月11日から14日まで開催しました。フェアでは、特産品5品や悪石島産大名タケノコ、サワラの切り身が商品棚に並びました。

フェア初日は、ゆがいた大名タケノコをマヨネーズで味付けしたものやサワラの切り身を塩焼きにしたものを提供しました。大名タケノコを試食された方からは、「大名タケノコがもう出ているの早いね」や「柔らかくておいしい」「香りがいいね」などの旬の味をいち早く感じている様子でした。また、サワラの切り身を試食された方からは、「瞬間冷凍されているとは思えないやわらかさ!!」や「塩味が絶妙！」など驚きながら購入されていました。



▲フェアの様子

# 新入生の皆さん、ご入学



今年ぼくは、小学生から中学生になりました。勉強も難しくなるし、今までぼくたちを引っ張ってきてくれた中学生になるので、これからはぼくが小学生を引っ張っていけるように頑張りたいです。

小宝島中学校

清水 宏太郎さん



悪石島中学校

まだ悪石島に来たばかりで、この島の事は全く知りません。こんなに人数の少ない学校も初めてです。とにかく『この島の人たちと仲良くなる』ことが今のぼくの目標です。

森木 渚さん



小宝島小学校

下川 愛陽さん

たくさんのともだちとあそんだり、おべんきょうしたり、がっこうがとてもたのしいです。いま、いちりんしゃをがんばっています。こうてい1しゅうできるようになって、とてもうれしいです。こんどは、2しゅうできるようにがんばりたいです。いろいろなじもいっぱいかけるように、がんばりたいです。



小宝島小学校

有馬 蘭さん

わたしは、たくさんのともだちができました。ともだちとあそぶのは、とてもたのしいです。いまがんばっていることは、いちりんしゃです。いちりんしゃたいかいで、のれるように、まいにちががんばっています。ひらがなやかけっこもじょうずにできるようにがんばりたいです。



小宝島小学校

岩下 和矢さん

1ねんせいになってたのしかったことは、ぶんこうのみんなとおにごっこをしてあそんだことです。みんなとなかよくあそべてとてもうれしかったです。がんばりたいことは、さんすうのおべんきょうと、うんどうかいのかけっこ、いちりんしゃです。まいにちれんしゅうして、はやくできるように、がんばりたいです。



中学生になってバドミントンの県大会などがあるので、試合で1点でも多く取れるように練習を必死にがんばりたいです。また、勉強も難しくなるので、先生の話の聞いたり、復習したりして理解していきたいです。

宝島中学校

中村 久光さん



あと一年で宝島小中学校のリーダーになるかもしれません。だから、リーダーシップのある立派な中学生になりたいです。そのためには、児童生徒会長の陽菜さんを見て、いいところをまねしていきたいです。

宝島中学校

平田 進之助さん



僕が中学生になってがんばっていることは、バドミントン部とパソコン部です。特にバドミントンをがんばっています。バドミントンを一生懸命練習して県大会で一勝するのが目標です。だから、弱い自分に負けず、自分に厳しい心をもってがんばります。

宝島中学校

今村 治樹さん



中学生になりました。これからも小中学生のみんなと仲良くしたいです。勉強や折り紙、絵をがんばりたいです。

宝島中学校

福島 しほなさん

# おめでとうございます！

春爛漫の心地よい季節となってきた4月。各島小中学校に、希望に満ちた、新入学生がそれぞれ入学されました。特に平島では11年ぶりの入学式が行われ、教育長も駆けつけ盛大な式になりました。それでは、元気いっぱいの新入学生徒、児童をご紹介します。



僕の抱負は、やるべきことを後回しにしないことと積極的に行動することの2つです。この2つのことを意識して充実した中学校生活を送りたいです。

諏訪之瀬島中学校

秋庭 吐火羅さん



今年度から中学生になるので下級生の手本となる行動をしたいと思います。また、部活動は今までもよりハードになるので一生懸命に取り組み、中体連に向けてがんばります。

諏訪之瀬島中学校

山中 雪嘉さん



がっこうは、まいにちたのしいです。とくにひるやすみは、ともだちとあそぶのがたのしいです。こくごのじゅぎょうではやくかんじをならいたいです。なわとび100かいとんだり、いちりんしゃにのれるようになりたいです。

平島小学校

用澤 青さん



中学生になってとくに頑張りたいことは、頼られる人になるということです。困っていたら助け、間違っていることは注意できるような人になりたいです。そしてみんなと仲良く、中学校生活を送っていききたいです。

悪石島中学校

有川 雅さん



ぼくは、がっこうをやすまないで、ともだちとなかよくすごしたいです。なつは、うみでシュノーケルをつかって、およげるようになりたいです。

口之島小学校

中村 航志さん



今まで見てきた中学生を手本にし、みんなに頼られる生徒になりたいと思っています。そのために、予習や復習をしっかりすること、生徒会活動に積極的に取り組むこと、文武両道を目指し、部活動を一生懸命することがんばります。

口之島中学校

永吉 美悠さん



いちりんしゃにのるのがたのしいです。はじめてするたいこやバドミントンのれんしゅうがたのしいです。さんすうのもんだいをたくさんときたいです。

中之島小学校

小原澤 稔理さん



中学生になってがんばりたいことは、あいさつと人前での発表です。人の目を見て気持ち良くあいさつできるようにになりたいです。そして大勢の前でも、自分の考えをハキハキ伝えられるようになりたいです。

中之島中学校

羽生 伊織さん

## もし、今、震災が起こったら・・・

### あなたは地震に備え、対策してありますか？

4月25日（土）中之島の食生活改善推進員さんたちが中心になりポリ袋で非常時の食事づくりをしました。

献立・白飯（ポリ袋に米と水を入れ、空気を抜き結び、鍋で30分加熱）

- ・カレー（ポリ袋に野菜とツナ缶、カレールー、水を入れ鍋で30分加熱）
- ・ポテトサラダ（菓子じゃがりこに湯を注ぎ、混ぜる）

他にポトフ、野菜の塩昆布和え、かんぱんの卵とじなど・・・

「食べることは、生きることです」いざというときに備えてパッキングを知っておくとたいへん役立つのでは・・・  
長所として

- ・袋のまま食べれば、食器が不要で洗い物が出ない
- ・災害時貴重な「水」が節約できる
- ・災害時に不足しがちな野菜を摂取できる

いざというときに備えて各島、実施していきたいと思います。



▲出来上がり！



▲調理の様子



▲袋に野菜を入れます



▲鍋で加熱します

## 母の日用のカーネーションが今年も贈られました

5月8日、鹿児島市本名町の生花店主、田知行義久さんから村内の児童生徒に向けて、母の日用のカーネーションが今年もプレゼントされました。田知行さんが経営している生花店が、以前本村と同じ鹿児島郡に所属していたことがきっかけではじまり、今年で34年目を迎えました。村内では手に入りにくいカーネーションに毎年とても喜んでいきます。本当にありがとうございました。



▲田知行さん（右から2番目）と教育委員会の皆さん

## 十島村・トカラ列島フェア「トカラの贈り物」

ホテルウェルビュー『和食処 薩摩』及び『レストランリプル』にて、トカラ列島の海の幸と山の幸を使った「十島村・トカラ列島フェア トカラの贈り物」が開催されています。

場所 ホテルウェルビューかごしま「和食処 薩摩」「レストランリプル」

期間 平成27年5月8日（金）～6月30日（火）17:00～21:00

※前日までの御予約制 099-206-3838（内線130）



## 諏訪之瀬島で早出しスイカ栽培実証中！！

新規品目として、諏訪之瀬島の温暖で排水良好な土壌を活かして、早出しスイカの栽培実証を行っております。植付は2月下旬で6月上旬から収穫を計画しております。

糖度が高く、他産地と差別化で有利販売を期待しています。



▲定植作業中



▲スイカ栽培をしている皆さん

## 総合教育会議を開催

5月11日、役場本庁会議室にて「第1回総合教育会議」が、村長・教育委員会委員出席のもと開催されました。

総合教育会議は、このたびの地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、村長が設置・招集する会議で、十島村の教育・文化・スポーツ等の振興に関する総合的な施策の大綱や地域の実情に応じ重点的に講ずべき施策等について、村長と教育委員会が協議・調整を行う会議です。

会議では、村長あいさつのあと協議に入り、総合教育会議設置要綱、大綱（今後5年間に取り組む施策等）について了承、子育て支援やいじめ防止等についての意見交換がなされました。また、村長からは、山海留学生受入れ体制の整備（寄宿舎整備）、未就学児と小学校との連携、村文化財指定（口之島野生牛の天然記念物）への取組及び文化財等の発掘調査等を大綱に盛り込む等の説明がありました。

今後も、本村教育の充実・振興に向けて、総合教育会議を開催していきます。



（総合教育会議の様子。2名の教育委員は、TV会議での出席）

## 国文祭実行委員会が開催される

5月11日（月）10時から、役場本庁会議室で「第三十回国民文化祭十島村実行委員会」が開催されました。24名の実行委員による熱心な協議が行われました。

トカラの伝統芸能祭は、11月3日（火・祝）の鹿児島市（ジエイドガーデンパレス）と列島島めぐりマラソン大会時の11月14日（土）の宝島港、15日（日）のフェリーとしま上り便での各島港の2本立てになります。鹿児島市会場には、秋田県にかほ市の「鳥海山小滝舞楽」と熊本市の「肥後ちゃんかけごま」の県外団体の出演も決定しました。

また、悪石島の仮面神ボゼが、10月31日の第三十回国民文化祭の開会式・オープニングフェスティバルに出演することも決まり国文祭の気運が徐々に高まってきました。

実行委員会後、委員10名で会場のジエイドガーデンパレスの視察にも行ってきました。

この全国的な国民文化祭で、伝統の「トカラ」を大いにPRしたいものです。



▲会場を視察中の実行委員

## 出張員会議が行われました

5月7日から8日の2日間、役場本庁会議室にて「平成27年度第1回出張員会議」が開催されました。3名がTV会議システムを通じた出席となりましたが、各課と協議を行いました。また、8日の午後からは鹿児島地方気象台の方を講師に招いて防災気象情報の活用について職員と一緒に研修を実施しました。



▲鹿児島地方気象台 緒方氏の講話の様子

## 消防分団長会議が開催されました

平成27年4月20日（月）、役場本庁会議室にて「平成27年度消防分団長会議」が開催されました。当日は、各消防分団から代表者の方々に参加していただきました。会議の主な内容としては、急患発生時の対応や今後の事業計画、11月中に実施予定の地震・津波避難訓練の計画等について協議が行われました。今後の課題としては、消防団員として各島に女性の方が入団してもらおうという事です。現状としては、子育てや仕事等の事情もあり、なかなか入団が難しいという声が各島から出ているようです。しかし、女性の方の急患発生時等には、女性消防団の方が対応して下さったら、よりスムーズにいくのではと各分団長とも話が進みました。各島に女性消防団の方が積極的に入団してくれるよう、役場としても対応策をとっていきたいと思います。本会議では、本村の消防活動に関する今後の取組みや方針等を再確認し、各分団からも積極的に意見をだしてもらい、有意義な会議となりました。

▶消防分団長会議の様子



# トカラふるさとづくり寄附金を積極的に推進します！！

十島村では、ふるさと納税寄附金を利用した活力ある村づくりを進めるため、「トカラふるさと基金」を創設し積み立てています。今後、さらに当該寄附金を推進していくため、本村の特産品をまるごと凝縮したパンフレットを製作しております。また、本村HP上からクレジット決済にて納税できるよう準備を進めています。



▲パンフレット表紙



▼パンフレット内容



※パンフレットについては、5月下旬から配布予定です。

## 平成 27 年度税制改正により、

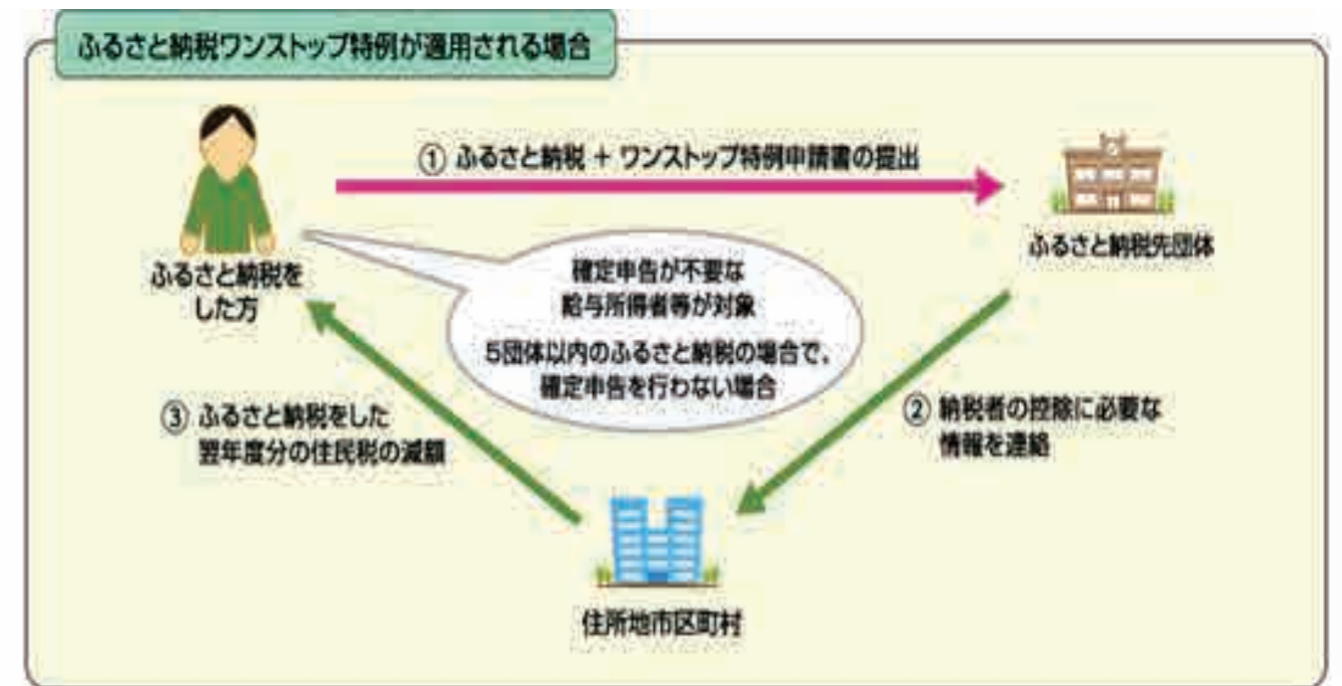
### ふるさと納税は以下の2つが改正されました！

#### 1. ふるさと納税枠を約2倍に拡充

ふるさと納税を行う際、2,000円を除いた全額が控除される限度額である「ふるさと納税枠」が、約2倍に拡充されました。平成27年1月1日以降のふるさと納税から対象となります。

#### 2. ワンストップ特例の創設

確定申告等を行う必要のない給与所得者等がふるさと納税を行う場合、納税先が5団体以内であり、且つ、特例の申請書を提出した場合に限り、確定申告等を行わなくても寄付金控除が受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」が創設されました。



#### ～トカラふるさとづくり寄附金の現在の申込状況について～

平成26年度の申込み状況は、**95件、330万6,200円**となっております。

5万円未満	80人 (29人)	1,184,200円 (477,200円)	10万円以上	8人 (31人)	1,750,000円 (597,200円)
5万円以上	7人 (2人)	372,000円 (120,000円)	合計	95人 (31人)	3,306,200円 (597,200円)

◀寄付申込額別件数  
(平成26年度分)

※ ( ) は村職員の寄付者数、及び寄付額

十島村で生まれ育った皆さま、またご縁のある皆さま、「ふるさと納税制度」を活用し、むらづくりの応援をお願いします！

#### 【ご寄附への特典について】

ご寄附をいただいた方には、もれなく十島村の特産品詰合せセットを送付させていただいております。

十島村ふるさと納税窓口 十島村総務課 ☎099-222-2101

# 平成27年度 当初予算

平成27年度の当初予算がまとまり、3月議会定例会において承認されましたので、主な事業と一般会計の歳入・歳出状況についてお知らせいたします。

平成27年度の予算は、村財政の財源不足は継続していますが、国や県と歩調を合わせつつ、重点的に取り組んでいる人口激減対策、雇用対策、遊休農地復活対策、住民参画・住民協働の推進事業など、「十島村総合振興計画」及び「十島村過疎地域自立促進計画」の実現のため、前年度に引き続き積極的な予算編成に取り組んでいます。

## 歳入の主な特徴

- 個人村民税2千67万7千円（対前年度比+12万1千円、6.3%）は増加、法人村民税209万4千円（対前年度比△82万2千円、△28.2%）は大幅に減少。
- 固定資産税3千629万円（対前年度比△16万9千円、△0.5%）は微減。うち償却分2千851万1千円（対前年度比△20万9千円、△0.7%）。
- 分担金・負担金の減少は、老人福祉施設入所者減が影響。
- 財産収入は、基金の一部を国債又は地方債で運用開始したことから大幅増。
- 寄付金は、ふるさと納税制度拡充により大幅増の見込み。

- 繰入金については、財政調整基金、地域振興基金等で公共事業等の財源を確保。一財政調整基金16万5千4百1千円（対前年度比+6万4千6百5千円、64.2%）、減債基金5千357万円（対前年度比+265万6千円、5.2%）、ふるさと基金の活用642万6千円（対前年度比+158万8千円、32.8%）。
- 諸収入は、26年度に被災したプロロードバンド施設の保険金1千200万円（前年度比皆増）の影響で大幅増。
- 前年度に引き続き、消費増税による地方消費税交付金の増加を見込んでいます。
- 村普通交付税決算見込は平成26年136万4千6百8千円、平成25年153万2千2百12万5千円。普通交付税127千627万9千円（対前年度比△2千972万1千円、△2.3%）。
- 特別交付税は地域おこし協力隊、公共施設総合計画策定の需要増を加算。一特別交付税5千632万8千円（対前年度比+2千632万8千円、87.8%）、臨時財政対策債6千90万円（対前年度比△1千110万円、△15.4%）。
- 国庫支出金は補助離島活性化（船待施設）3千997万2千円（前年度比皆増）、補助道路新設改良費18千387万6千円（前年度比+4千562万6千円、33.0%）、地域再生（港湾）23千150万円（前年度比皆増）が影響し、大幅に増加。
- 県支出金の減少は、特定離島や地域振興事業で増減があるほか、介護地域人づくり事業の前年度比△1千681万5千円（皆減）、海岸漂着物地域対策推進事業の前年度比△2千19万6千円（△91.2%）、補助林道口之島線の△2千271万5千円（皆減）が影響しています。
- 地方債はセラノマ温泉整備（辺地債）3千800万円、補助地域再生（港湾・過疎債）7千100万円、前籠漁港船待施設整備（過疎債）3千990万円が影響し、大幅増。（前年度比すべて皆増）

○ 海外ホームステイ派遣事業	活用額	1,466千円	事業費	2,830千円
○ 地域振興推進事業	活用額	466千円	事業費	4,799千円
○ 列島マラソン	活用額	50千円	事業費	3,633千円
○ 特定健診巡回診療	活用額	1,040千円	事業費	3,179千円
○ 文化財保護対策費	活用額	432千円	事業費	2,687千円
○ 国民文化祭事業	活用額	1,973千円	事業費	6,096千円
○ (特産品等返礼)	活用額	1,000千円	事業費	—

歳入費目	歳入額	増減額	増減比
村税	63,481	62	0.1
地方交付税	1,332,607	△3,393	△0.3
国庫支出金	1,108,731	250,998	29.3
県支出金	383,746	△38,334	△9.1
繰入金	325,397	122,414	60.3
村債	430,000	103,000	31.5

▲表6 トカラふるさと基金の活用事業

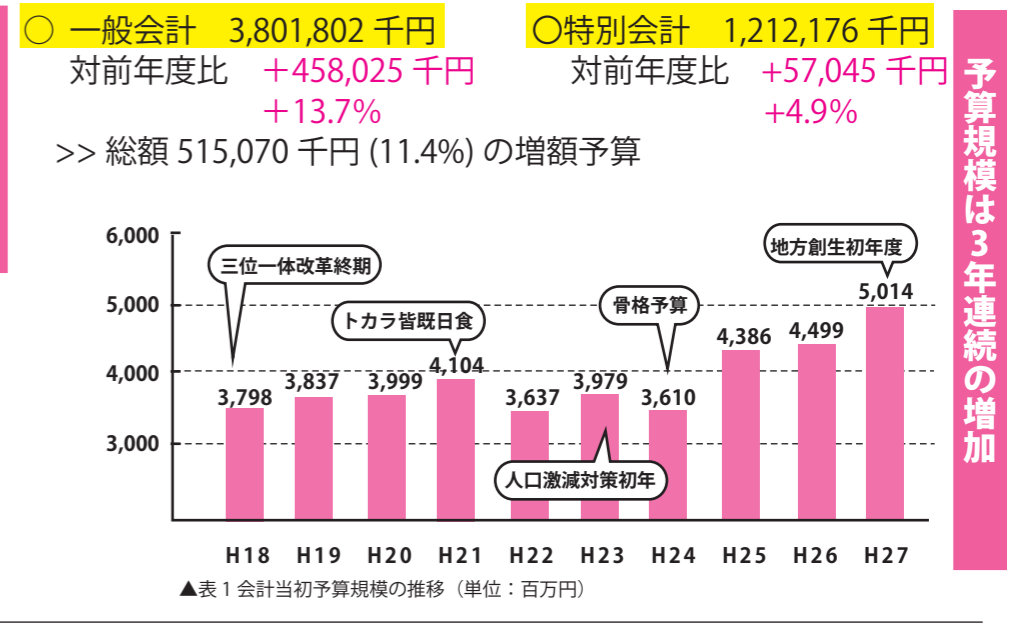
会計名称	平成27年度	平成26年度	増減額	増減比
一般会計	3,801,802	3,343,777	458,025	13.7
国民健康保険特別会計	104,616	105,901	△1,285	△1.2
船舶交通特別会計	929,507	910,423	19,084	2.1
介護保険特別会計	103,544	61,164	42,380	69.3
介護サービス特別会計	1,080	1,258	△178	△14.1
簡易水道特別会計	66,594	69,536	△2,942	△4.2
後期高齢者医療特別会計	6,835	6,849	△14	△0.2

▼表8 目的別に見た歳出の推移（単位：千円・%）

基金名称	H25末残高 決算額	H26末残高 見込額	H27当初 予算増減	差引残高
財政調整基金	474,000	459,000	△164,818	294,182
減債基金	548,000	498,000	△50,000	448,000
渡船基金	768,575	918,575	0	918,575
住民医療費運営当基金	300,000	300,000	0	300,000
災害引当基金	100,000	100,000	0	100,000
肉用子牛価格安定基金	191,800	191,800	0	191,800
地域振興基金	413,125	428,125	△100,000	328,125
中山間ふるさと水と土基金	10,000	0	0	0
トカラふるさと基金	8,529	6,880	△2,426	4,454
合計	2,814,029	2,902,380	△317,244	2,585,136

## 歳出の主な特徴

- 普通建設事業費が大きく増額しています（対前年度比+39千117万円）。中でも補助事業費の伸びが大きい（対前年度比+32千712万円、29.8%）。
- 額で比較すると次に人件費（対前年度比+3千711万8千円）、繰出金（対前年度比+1千199万8千円）の順で伸びが大きくなっています。
- 繰出金の増加は、介護特会の新規事業等が影響。介護特会繰出2千439万4千円（前年度比+1千542万円、17.8%）。地域支援事業の拡充に併せ、職員、非常勤職員等も特別会計へ異動。



▲表7 一般会計歳出と対前年度増減・増減比（単位：千円・%）

項目	予算額	構成比	対前年度比較 増減額	増減率
人件費（議員・職員・委員等の報酬給与等）	393,542	10.4	37,118	10.4
物件費（賃金・旅費・需用費・役務費・備品など）	449,819	11.8	4,339	1.0
維持補修費（道路や施設の維持管理費）	12,052	0.3	△2,898	△19.4
扶助費（障害者・高齢者・医療など社会保障費）	38,521	1.0	△260	△1.0
補助費等（補助金・報償金・保険料など）	238,531	6.3	△29	0.0
普通建設事業（道路や施設などの造成費）	1,968,697	51.8	391,170	24.8
公債費（村の借金を返すためのお金）	563,996	14.8	△4,992	△0.9
積立金（目的をもった基金に貯金するためのお金）	8,153	0.2	4,993	158.0
繰出金（特別会計・運用するための基金に支出）	104,015	2.7	11,998	13.0
災害復旧費（災害復旧のための費用）	12,000	0.3	12,000	皆増
予備費（緊急に必要となったものに使うお金）	12,476	0.1	4,586	5.8
合計	3,801,802	100.0	458,025	13.7

▲表4 一般会計自主財源と依存財源の推移（単位：千円・%）

項目	予算額	構成比	対前年度比較 増減額	増減率
議会費	49,359	1.3	4,993	11.3
総務費	375,016	9.9	42,703	12.9
民生費	184,195	4.8	△7,926	△4.1
衛生費	271,666	7.1	13,857	5.4
労働費	1,268	0.0	673	113.1
農林水産業費	415,084	10.9	△16,603	△3.8
商工費	134,576	3.5	38,549	40.1
土木費	1,582,307	41.6	329,190	26.3
消防費	21,321	0.6	5,304	33.1
教育費	178,538	4.7	35,691	25.0
災害復旧費	12,000	0.3	12,000	100.0
公債費	563,996	14.8	△4,992	△0.9
予備費	12,476	0.3	4,586	5.8
合計	3,801,802	100.0	458,025	13.7

区分	項目	予算額	構成比	対前年度比較 増減額	増減率
自主財源	村税（住民税・固定資産税など）	63,481	1.7	62	0.1
	分担金及び負担金（老人福祉施設費など）	139	0.0	△664	△8.3
	使用料及び手数料（診療所負担金・家賃等）	69,860	1.8	4,792	7.4
	財産収入（土地貸付など）	20,947	0.6	7,025	50.5
	寄附金（ふるさと納税等）	4,001	0.1	2,500	166.6
	繰入金（貯金の取崩など）	325,397	8.6	122,414	60.3
	繰越金	1	0.0	0	-
	諸収入（他に属しない雑収入）	28,430	0.7	9,064	46.8
	【自主財源計】	512,256	13.5	145,193	39.6
	地方譲与税（利子・配当・株式含む）	23,333	0.6	△2,559	9.9
依存財源	地方消費税交付金	9,234	0.2	3,045	49.2
	自動車取得税交付金	1,894	0.0	75	4.1
	地方特例交付金	1	0.0	0	-
	地方交付税	1,332,607	35.1	△3,393	△0.3
	国庫支出金	1,108,731	29.2	250,998	29.3
	県支出金	383,746	10.1	△38,334	△9.1
	村債	430,000	11.3	103,000	31.5
	【依存財源計】	3,289,546	86.5	312,832	10.5
	合計	3,801,802	100.0	458,025	13.6

注）構成比は各項目で四捨五入しているため合計の積み上げ額は相違しています。

### 特定離島（ハブ駆除） 事業費 500 千円

小宝島、宝島のハブ駆除を促進するための買い上げ金です。

### 新25 海岸漂着物地域対策推進事業 事業費 2,044 千円

国の基金事業を活用して、海岸漂着物の除去を進めます。

### 拡 診療所費 事業費 173,189 千円

各島の診療所の運営に係る職員給与費、看護専門員・補助員報酬等、栄養指導員報酬等、診療所運営費、医師派遣費です。27 年度から、新たに下 3 島に大島病院からの巡回診療が加わります。

### ゴミリサイクル推進事業 事業費 3,320 千円

ゴミ分別収集等に要する経費です。ゴミコンポストの購入費の一部も助成します。

### 合併処理浄化槽整備事業 事業費 2,508 千円

合併処理浄化槽の整備費の一部を助成します。

## ○ 労働費

### 新25 雇用創出対策事業 事業費 1,268 千円

地域やホームタウンプランナーとの意見交換等を通し、今後の雇用の在り方を検討します。

## ○ 農林水産業費

### 新 農業用水整備工事 事業費 2,144 千円

宝島・小宝島の農業用水の確保を図ります。

### 新24 生産施設整備補助（農業） 事業費 2,853 千円

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、営農を目的とする農業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

### 有害鳥獣対策事業 事業費 250 千円

平成 23 年度から、増加した野ヤギ駆除対策に取り組んでいます。

### 新24 土壌改良促進事業 事業費 1,950 千円

畑の土壌を改良するための資材購入費用の一部を助成します。

### 新25 産品販売促進支援事業 事業費 500 千円

特産品の販路拡大、パッケージ制作等の活動を支援します。

### 新 地域おこし協力隊（農業支援）

事業費 16,450 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、さらなる農林水産業の活性化を図ります。

### 特定離島（共同利用農業施設） 事業費 9,894 千円

農作物の品質向上、収穫量増量を図るため、平張施設の整備を進めます。平成 27 年度は、小宝島に 4 棟整備する計画です。

### 特定離島（流通販売促進） 事業費 11,643 千円

特産品の流通販売推進業務、6 次産業化など NPO に委託し、活性化を図ります。

### 新 高齢者元気アップ地域包括ケア推進事業

事業費 366 千円

高齢者が加入するグループ活動を支援します。

### 新 地域おこし協力隊（高齢者支援）

事業費 8,226 千円

特別交付税で措置される地域おこし協力隊を活用して、地域の見守り活動などの事業展開を推進します。

### 新 地域子育て支援拠点事業 事業費 9,938 千円

宝島の保育事業に取り組みつつ、保育士等の各島への派遣を実施します。

### 子ども医療費助成事業 事業費 430 千円

中学生以下（他制度適用医療費除く）の子どもに係る医療費の一部を助成します。

### 新24 ミルク・紙おむつ支給事業 事業費 655 千円

乳幼児に係るミルク、紙おむつの購入費の一部を助成します。

### 新24 体験保育費助成事業 事業費 849 千円

乳幼児の保育体験を目的に村外に旅行する費用の一部を助成します。

## ○ 衛生費

### 健康増進事業 事業費 3,605 千円

各種検診事業の実施、健康づくり教室の展開により、早期発見、早期治療を推進し、住民の健康をサポートします。

### 母と子の健康増進事業 事業費 692 千円

乳幼児健診、及び子ども病院のボランティア医療の受け入れによる乳幼児の健康をサポートします。

### 特定診療科巡回診療事業 事業費 3,179 千円

県の支援を受け、歯科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科の診療を行います。

### 妊産婦検診補助事業 事業費 401 千円

妊産婦が検診を受診するため、村外に旅行する費用の一部を助成します。

### 予防接種事業 事業費 1,487 千円

法定定期接種のほか、インフルエンザやおたふくの予防接種を実施するとともに、高校生の予防接種に要する費用の一部を助成します。

### 新25 風疹予防接種事業 事業費 18 千円

乳幼児や乳幼児に接する方の風疹の予防接種費用を軽減します。

### 新25 害虫駆除対策事業 事業費 1,945 千円

蚊などの害虫に加え、スズメバチ、ネズミ駆除剤を支援します。

### 廃自動車離島支援事業 事業費 197 千円

自動車の廃車に係る船運賃の一部を助成します。

### 特定離島（ブヨ駆除） 事業費 5,511 千円

口之島、中之島のブヨ駆除に要する経費です。

工事、及び口之島コミュニティセンターのシロアリ対策工事を施工します。

### 新 社会保障・税番号システム整備

事業費 7,291 千円

税に関連する社会保障・税番号システムが全国で整備されます。民生費においても福祉に関連するシステム整備費として 957 千円が計上されています。

### 地籍調査事業 事業費 15,550 千円

毎年継続している地籍調査は、平成 26 年度から口之島の地籍調査を開始しています。

### 国勢調査 事業費 1,058 千円

27 年度は国勢調査が実施されます。

## ○ 民生費

### 定住促進対策事業 事業費 23,081 千円

定住促進のため 3 年目の節目及び転入費用を子どもの増加促進のため出生、入学祝金、及び中学生以下生活支援金を交付するほか、婚姻にも交付金を交付します。

### 住民医療費助成事業 事業費 2,500 千円

一定の要件を満たした方が負担する医療費の一部を助成します。

### 鍼灸施術事業 事業費 2,388 千円

村内に鍼灸施術を受診できる施設がないため、年 3 回鍼灸師を派遣します。

### 新24 娯楽設備等整備補助事業 事業費 160 千円

集落で活用する娯楽設備の購入費を助成します。

### 新26 臨時福祉給付金給付事業 事業費 3,614 千円

国の消費増税経済対策事業の一環で村民税非課税者に一時金を給付します。

### 新24 特殊治療船運賃助成事業 事業費 223 千円

一定の重度患者の定期船運賃を助成し、費用の軽減を図ります。

### 新24 高齢者優待乗船券事業 事業費 6,059 千円

70 歳以上の方を対象に年 12 往復できる乗船券を交付します。

### 新24 高齢者居住環境整備事業 事業費 200 千円

高齢者の居住環境の改善を支援します。

### 特定離島（健康増進対策） 事業費 3,933 千円

機能訓練をはじめ、栄養指導、保健指導、及びとからいきいき教室のサポートなど、総合的に健康増進活動を進めます。

### 介護事業所運営事業 事業費 13,203 千円

小規模多機能ホームたからの指定管理、及び施設の管理運営に要する費用です。

### 新25 地域見守り事業 事業費 529 千円

口之島なごみの里をはじめ、各島の見守り活動を進めます。

# 27年度当初予算の主な事業

主に新規・拡充事業を紹介します。

新 …H27 新事業

拡 …H27 拡充事業

新26 …H26 新事業

拡25 …H25 拡充事業

新25 …H25 新事業

拡24 …H24 拡充事業

新24 …H24 新事業

## ○ 総務費

### 指定宿泊所宿泊費助成事業 事業費 8,400 千円

鹿児島市、奄美市に所在する村指定の宿泊所宿泊費を助成しています。年々、利用が増加しています。

### 新 公共施設総合管理計画策定費 事業費 3,969 千円

国の要請により、全公共施設の老朽化等や統廃合に係る長期計画を策定します。財源の 2 分の 1 を特別交付税で見込んでいます。

### 新25 婚活支援事業 事業費 251 千円

婚活に係る特定の費用の一部を助成し、活動を支援します。

### 新 特定離島（ブロードバンド対策）

事業費 21,600 千円

不具合や老朽化により、T V 会議システムを更新します。（集会施設・学校）

### 新 特定離島（難視聴対策） 事業費 5,270 千円

地上デジタル放送の受信不良を解消するため、平島・諏訪之瀬島・悪石島・小宝島の受信施設を改良します。

### 新25 特定離島（定住対策） 事業費 8,196 千円

定住の総合的な促進を図るため、定住促進プロジェクトチームとの連携強化、U I ターン者随行、既 U I ターン者と意見交換、都市での定住説明や面談等を実施します。

### 新25 地域振興（花嫁対策） 事業費 1,800 千円

婚姻を希望する未婚者の解消を図るため、村内で婚活イベントを開催し、出会いの場を提供します。

### 新25 代替船建造事業 事業費 8,569 千円

フェリーとしまの後継船建造のため、代替船建造委員会の開催、視察調査など、平成 28 年度発注に向け、具体的な船型等を検討します。

### 地域振興推進事業 事業費 4,799 千円

地域が主体的に取り組む地域づくり活動を支援し、地域の活性化を図ります。

### 新24 おはら祭り事業 事業費 860 千円

おはら祭りへの参加を通じ、広く村をアピールします。

### 新 コミュニティセンター改修工事

事業費 15,627 千円

宝島高齢者コミュニティセンターの出張所窓口等の改修



## ○ 教育費

**特定離島（山海留学） 事業費 12,781 千円**

平成 27 年度は 16 名の受け入れを見込んでいるほか、里親研修会、留学希望者の運賃支援を計画しています。

**新24 海外ホームステイ派遣事業 事業費 2,830 千円**

前年度と同様 5 名の派遣を、夏季アメリカコースで計画しています。

**新24 離島高校生修学支援事業 事業費 5,546 千円**

村外に滞在し、通学する高校生の滞在費用及び帰省に要する交通費を支援します。

**小学校維持補修費 事業費 25,946 千円**

学校施設の維持のため、補修に要する経費です。

**集合学習事業 事業費 602 千円**

小学校で隔年おきに実施している事業で、鹿児島市内小学校との交流学习を実施します。

**中学校連合体育大会費 事業費 954 千円**

中学校で 3 年おきに実施している事業で、高校への訪問や本土の中学校等との交流を図ります。

**A L T 派遣事業 事業費 630 千円**

外国語指導助手を各島 2 回派遣し、中学生の英語力向上を図ります。

**新 悪石島中屋内運動場改修事業 事業費 19,869 千円**

悪石島屋内運動場の天井を改修します。

**歴史民俗資料館運営費 事業費 3,080 千円**

中之島の歴史民俗資料館の運営に要する経費です。全館のガス燻蒸を計画しています。

**天文台運営費 事業費 7,506 千円**

中之島の天文台の運営に要する経費です。反射望遠鏡の再メッキ、屋根防水・外壁補修を計画しています。

**文化財保護対策費 事業費 2,687 千円**

中之島のトカラ馬の保護に要する経費のほか、タモトユリの調査を計画しています。

**生涯学習事業 事業費 715 千円**

各島の生涯学習活動を支援し、社会教育の振興を図ります。

**花いっぱい運動事業 事業費 702 千円**

学校を中心に花いっぱい運動を展開し、花の多い地域を目指します。

**ファミリー劇場 事業費 1,620 千円**

各島で文化芸能に触れる機会を提供します。

**新25 国民文化祭事業費 事業費 6,096 千円**

平成 27 年 11 月に実施する国民文化祭に要する経費です。

**新26 村民体育大会費 事業費 652 千円**

村民体育大会の実現に向けた検討を始めます。

**へき地パン・ミルク等給食費 事業費 1,483 千円**

給食に要する経費の一部を助成し、給食費の負担軽減を図ります。

悪石島湯泊温泉公園、及び中之島港に公衆トイレ等を整備します。

## ○ 土木費

**地域振興（標識柱） 事業費 8,000 千円**

観光案内板 30 基を整備します。

**補助道路新設改良事業 事業費 263,017 千円**

村道中之島御岳線、平島高原線・南之浜線・中央線・東海岸線、諏訪之瀬島榑戸原線、悪石島湯泊線、宝島荒木崎線の新設改良工事を要望しています。

**特定離島（道路環境整備） 事業費 56,090 千円**

口之島、中之島、平島、宝島の集落道路等の側溝整備等を計画しています。

**特定離島（防波堤等整備） 事業費 40,085 千円**

平成 25 年度から 3 年計画で切石港上部のかさ上げを実施しています。

**補助港湾建設事業 事業費 750,000 千円**

東之浜港、小宝島港の改修工事を進めます。

**小宝島港深淺測量 事業費 2,744 千円**

小宝島港の浚渫工事を進めるため、測量します。

**新26 地域再生計画（港湾） 事業費 302,500 千円**

切石港防波堤の改良、小宝島港泊地の浚渫を計画しています。

**単独住宅建設事業 事業費 10,982 千円**

村営住宅 1 棟の増築、口之島・中之島・宝島の宅地造成、及び小宝島村営住宅の目隠フェンスの設置を計画しています。

**特定離島（定住促進住宅） 事業費 86,792 千円**

口之島・中之島・宝島に 2 世帯長屋村営住宅をそれぞれ 1 棟ずつ整備する予定です。

**空家利活用事業 事業費 3,500 千円**

寄付された空家を解体し、村営住宅用地として活用します。

## ○ 消防費

**消防団員報酬手当費 事業費 5,032 千円**

女性消防団員の入団を推進します。

**非常備消防一般経費 事業費 7,555 千円**

例年、計上している活動に要する経費のほか、メール配信システムの構築、津波対策先進地視察、ドクターヘリ燃料関連経費、水難用資機材等の整備等を計画しています。

**自主防災組織費 事業費 139 千円**

鹿児島にて自主防災組織代表者の研修会を計画しています。

**単独消防施設整備事業 事業費 1,853 千円**

悪石島で急患ヘリ用の燃料倉庫を整備、及びヘリポート障害灯の改良、口之島に消火栓を整備するなど計画しています。

遊休農地を有効利活用するため、2.5ha の開墾を見込んでいます。

**新26 特定離島（特用林産物） 事業費 4,520 千円**

植林地の造成、サカキ (50a) の定植を計画しています。

**新26 地域振興（新規林産物導入） 事業費 2,330 千円**

ヒサカキ・サカキの先進地視察、現場研修を行います。

**新 県単林道事業 事業費 15,060 千円**

口之島前岳線の測量設計、舗装工事 (50m) を実施します。

**離島漁業再生支援事業 事業費 2,448 千円**

漁業集落の実施する水産業振興事業に補助金を交付します。

**生産施設整備補助（水産） 事業費 15,054 千円**

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、経営を目的とする漁業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

**新 特定離島（水産物販売促進） 事業費 6,458 千円**

山口水産に委託し、水産物の特産品開発、販路の拡大を図ります。

**新 補助離島活性化（船待施設） 事業費 79,945 千円**

宝島前籠漁港に船待施設、荷役倉庫兼フォークリフト車庫を整備します。

## ○ 商工費

**特定離島（生活物資輸送支援） 事業費 13,501 千円**

生活に欠かせない食料品の運賃を支援し、生活費の負担軽減を図ります。

**新 温泉施設整備費 事業費 38,142 千円**

口之島セラナム温泉の露天風呂を中心に整備します。

**ななしま運航費等 事業費 27,879 千円**

指定管理で運航しているななしま 2 に要する経費です。27 年度は定期検査となっており費用も増大しています。

**列島マラソン 事業費 3,633 千円**

地理的な特性を活かした全国でも希なマラソンとして、年々知名度も上昇しています。

**特定離島（カレンダー制作） 事業費 3,222 千円**

住民、友好島民に配布するほか、官公庁や観光関連企業等に配布し、PR します。

**新 特定離島（物産宣伝対策） 事業費 2,637 千円**

ゴルフダイジェストを活用した P R のほか、小中学生団体の合宿誘致を検討します。

**新 特定離島（民宿研修） 事業費 1,823 千円**

観光客等の受け入れ対策として、民宿の質の向上を図ります。

**新25 交流人口促進事業 事業費 3,268 千円**

離島活性化交付金事業を活用し、奄美大島との観光連携による観光客等の交流人口の誘致を図ります。

**新26 地域振興（観光地整備） 事業費 18,782 千円**

**特定離島（出荷運賃補助） 事業費 6,111 千円**

農林水産物の出荷に要する運賃、及び畜産の飼料、敷料に係る運賃を助成することにより、輸送に係る農家の負担を軽減します。

**新 特定離島（物産宣伝対策） 事業費 3,316 千円**

昨年度に引き続き、村単独の農林水産祭りを実施します。

**就業者支援事業 事業費 41,022 千円**

一定の要件を満たす転入から間もない U I ターン者を対象に、村で自立するために産業に従事した日数に応じて、奨励金を交付します。

**産業振興支援事業 事業費 5,183 千円**

農業の生産、水産業の燃料輸送・出荷手数料、及び特定離島（出荷運賃補助）非該当産物の出荷運賃を助成することで、生産費用を軽減します。

**新24 青年就農給付金事業 事業費 12,000 千円**

就業者支援事業対象者のうち、本国庫補助事業の要件を満たす方は、国庫補助事業の規定に従い、概算払いで給付金が交付されます。就業者支援事業では、本事業で交付された額が差し引かれることになります。

**新 補助離島活性化（移入・移入運賃補助）**

**事業費 720 千円**

特定の農林水産物加工品を対象に出荷時の定期船運賃の一部を助成します。27 年度からは、原材料の移入についても助成されます。

**畜産振興対策補助事業 事業費 9,244 千円**

牛発情促進ホルモン剤・ダニ駆除剤の購入、及び子牛出荷運賃、並びに登録繁殖雌牛の更新を助成することで、畜産農家の負担を軽減します。また、新たにダニレスについて H26・H27 の 2 年計画で購入費の一部を助成する。

**生産施設整備補助（畜産） 事業費 17,424 千円**

平成 24 年度から個人も対象とすることとし、営農を目的とする農業の効率化、近代化を図るため、購入した設備費及び施設整備費の一部を助成します。

**離島家畜衛生技術向上対策事業**

**事業費 4,554 千円**

地域に獣医が常駐していないことから、各島の衛生補助員の育成、及び家畜診療所の医薬品購入など、衛生環境対策を講じます。

**単独草地開発事業 事業費 9,884 千円**

餌不足の軽減、及び品質向上のため、各島の草地改良を進めます。

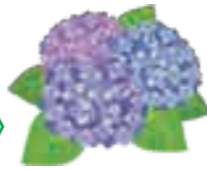
**特定離島（畜産振興施設整備）**

**事業費 44,123 千円**

樹木粉碎を主とした共同利用飼料機械倉庫（口之島）、及び油圧ショベルを整備します。

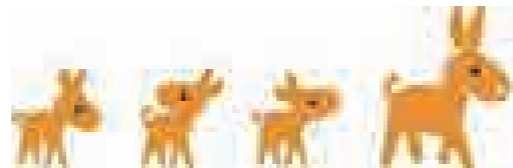
**遊休農地対策事業 事業費 5,060 千円**

## こんにちは♪ 地域包括支援センターです 《住み慣れた島でいつまでも暮らすために》



75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。このような状況の中、団塊の世代（約800万人）が75歳以上となる2025年（平成37年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。高齢者がいつまでも慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築を実現します。

- 在宅医療・介護連携の推進
- 認知症施策の推進
- 地域ケア介護の推進
- 生活支援サービスの充実・強化



### 地域包括ケアシステムとは・・・？

地域に包括医療・ケアを、社会的要因に配慮しつつ継続して実践し、島民が住み慣れた島で安心して生活できるように質の向上を目指すものです。治療だけでなく健康づくり、在宅ケア、リハビリテーション、福祉、介護サービスの全てを包括し、施設ケアと在宅ケアとの連携、住民参加のもとに地域ぐるみの保健（予防）・医療・介護・福祉と生活の連携をしていくことです。

### 平成27年度から総合事業が開始されます。

総合事業とは、村が中心となって地域の実績に応じて住民主体の多様なサービスを実現する事で地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者に対する効果的かつ効率的な支援を可能とする事業です。

これらを推進する為に今年度下記の職種が新設されました。

#### ・地域支え合い推進員

高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進していく役割を担います。

#### ・認知症地域支援推進員

認知症の人が出来る限り住み慣れた良い環境で暮らし続ける事が出来るよう、地域の実情に応じて医療機関、地域の支援機関や介護サービス事業所等をつなぐ連携支援や認知症の人やその家族を支援する相談業務を行います。

個別や地域の問題を皆で知恵を出し合って住みよい島づくりをしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。

## 5月から燃料輸送円滑化のための 補助事業をはじめました！

フェリーとしまでの燃料輸送（ガソリン）におきましては、先般、名瀬からの購入について、ご協力を賜りますようお願い申し上げたところですが、鹿児島からの積込み待ちが多数発生している状況でございます。

このたび、更なる積込み待ちの軽減を図るため、奄美大島からのガソリン購入を補助することとしました。

口之島、中之島においては、これまで同様、鹿児島からの運賃が安価ですが、それ以外の島については名瀬からの運賃の方が安価となりますので、特に諏訪之瀬島、平島、悪石島、小宝島、宝島にお住まいの方々は、この補助金を活用して、名瀬からご購入を検討していただき、積込み待ちの解消にご協力賜りますようお願いいたします。

- 1 補助金の名称 燃料輸送円滑化事業
- 2 補助対象者 ① 村内に住所を有している者  
② 村内に住所を有している者が運営する村内の事業者  
※ただし、次のような要件があります。  
(1) 税金その他村で徴収する公共料金等に滞納がない者  
(2) 使用後の空き容器を購入した燃料販売店に返還した者  
(3) 定期船運賃に未納がない者
- 3 交付対象経費 奄美大島に所在する燃料販売店から購入したガソリンを名瀬港から定期船で村内に輸送する際に要する次の経費  
① ガソリンの購入代金、及び名瀬港からの運賃  
② ガソリン使用後の空き容器の名瀬港までの運賃
- 4 補助金の額 交付対象経費から基準額を差し引いた額（基準額は、運賃・手数料を含む十島村漁業協同組合からの仕入額）
- 5 補助対象期間 平成27年5月1日以降の購入分から、平成28年8月31日までに申請されたものまで。
- 6 必要な書類 別途村で定める申請書及び請求書のほか、次の書類が必要となりますので、申請するまで紛失されないよう保管ください。（申請期限：空き容器を搬出した日から1年以内）  
① ガソリンを購入した日付・代金がかかる請求書または領収書写し  
② ガソリン入り容器の名瀬港からの定期船運賃の領収書写し  
③ 空容器の名瀬港までの定期船運賃の領収書の写し
- 7 問い合わせ先 土木交通課 航路対策室



# 介護保険の話

制度発足後 15 年が経過し、今や国民に定着した介護保険ですが、この 4 月に保険料を改定しました。

## 介護保険とは

介護保険は、加齢に伴い介護が必要になった方を社会全体で支えるために創設された社会保険で 40 歳以上の国民が加入しています。社会全体で支えていくという考えから、市町村が皆様からお預かりした保険料と公費により運営しています。今後、高齢者の進展に伴い、介護や生活支援を必要とする高齢者の増加が見込まれることから、「住み慣れた島でいつまでも暮らすことができる」地域づくり・体制づくりが急務となっています。

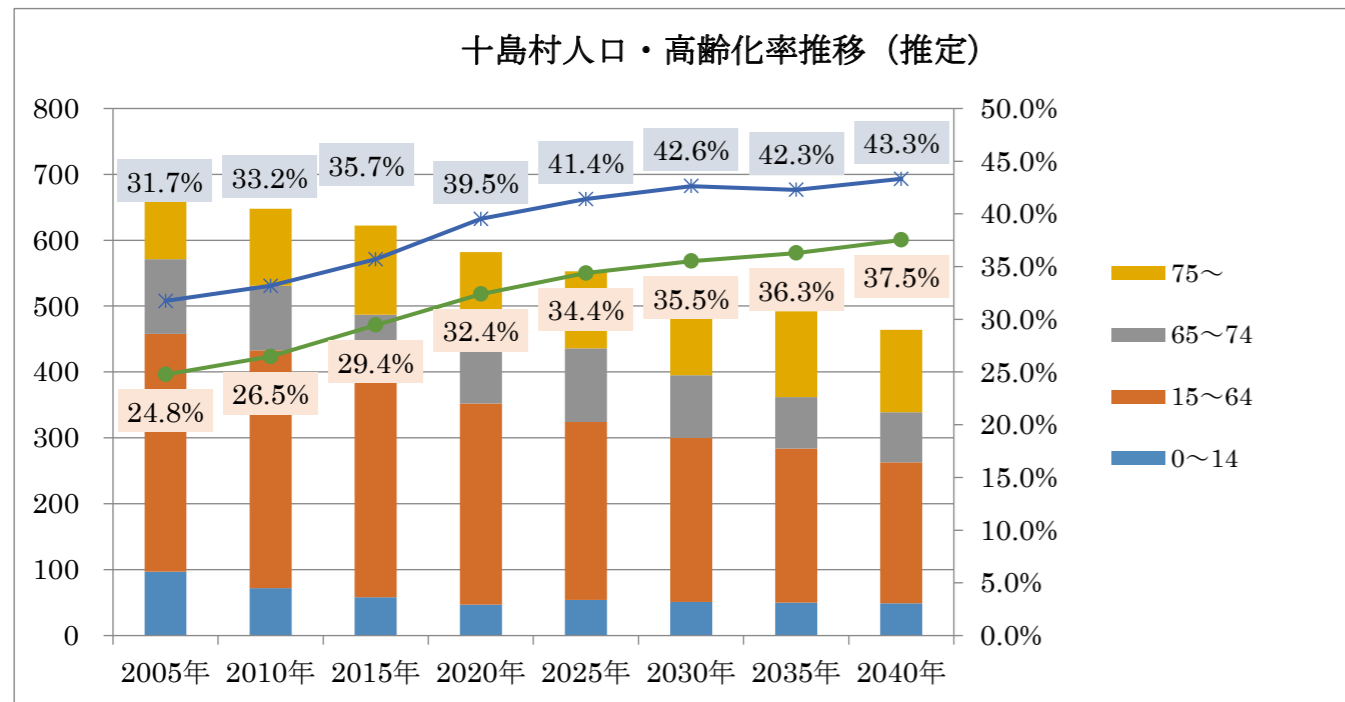
## 保険料について

保険料は、村の介護保険に関わる保健医療や福祉の関係者などからご意見をいただきながら、3 年ごとに改定しており今後 3 年間に見込まれる介護費用を基に算定します。

### 2025 年を見すえた介護保険事業計画の策定



高齢化率をみると、2015 年は 35.7%ですが、2025 年には 41.4%とさらなる高齢化が予想されます。人口問題も視野に入れた広い意味での「少子化対策」と「高齢者対策」を総合的に推進することが求められます。



# ☆奄美大島からの南部3島医師巡回診療が始まりました☆

平成 27 年 4 月から、悪石島・小宝島・宝島の南部 3 島において、奄美大島からの巡回診療を実施することとなりました。

診療については、「フェリーとしま」と高速観光船「ななしま 2」を使用し、1 回で 3 島診療を隔週毎（1 か月に各島 2 回）に実施する予定です。

なお、北部 4 島は鹿児島赤十字病院の常駐医師が中之島を拠点に巡回しており、南部 3 島は、同病院の巡回診療に加え、新たな巡回診療により、医療体制が強化されることとなります。



悪石島診療所



医師については、中野緩奈先生（村職員（併任））で、4 月 13 日からの悪石島の鹿児島赤十字病院巡回診療に随行いたしました。



悪石島診療所

4 月 14 日～15 日にかけて、悪石島診療所で、鹿児島赤十字病院の永井慎昌医師とともに住民を診察いたしました。



宝島診療所

4 月 16 日には、宝島で、17 日には小宝島で診療を実施しました。悪石島・小宝島・宝島の住民の方におかれましては、中野医師が、県立大島病院から来島しますので、ぜひ、受診ください。



小宝島診療所

# 職員の人事異動のお知らせ (平成27年4月1日付)

氏名	新	旧
福澤 章二		総務課長 兼 総務係
	兼 総務室長	兼 選挙管理委員会出向(書記長)
竹内 照二		地域振興課長
	産業振興室産業係、観光係を免ずる	兼 産業振興室産業係 兼 観光係
		兼 農業委員会出向(局長)
上村 晋一	土木交通課長 兼 地域整備室地籍係	土木交通課航路対策室長
	兼 定期船安全統括管理者	兼 村営船係
	定期船副運航管理者を免ずる	兼 定期船副運航管理者
肥後 勇喜	教育委員会出向(教育総務課長)	土木交通課地域整備室長
		兼 土木係
安藤 巧	地域振興課参事 兼 産業振興室長	住民課村民室長
	兼 産業係 兼 観光係	兼 村民室村民係 兼 保険係
村山 勝洋	土木交通課航路対策室長 兼 村営船係	総務課総務室長
	兼 定期船副運航管理者	兼 政策推進室長
	兼 新船建造事務担当	兼 政策推進室財務係
	出納員	
肥後 亘	総務課政策推進室長	地域振興課定住対策室長 兼 相談窓口係
	兼 政策推進室財務係	兼 住宅整備係 兼 就業支援係
本砥 貴子	住民課健康福祉室長	住民課健康福祉室主査
		兼 健康福祉室介護係 兼 福祉係 兼 健康係
隈元 仁志	地域振興課定住対策室長	地域振興課主査 兼 定住対策室相談窓口係
		兼 住宅整備係 兼 就業支援係
	農業委員会出向を免ずる	兼 農業委員会出向(書記)
平山 太志		土木交通課地域整備室主査
	兼 土木交通課地域整備室長心得	兼 土木係 兼 水道係
有川 孝志	住民課主査	総務課主査 兼 総務室税務係
	兼 村民室村民係 兼 村民室保険係	兼 政策推進室財務係
	兼 村民室長心得	兼 選挙管理委員会出向(書記)
平田 直巳	教育委員会出向を免ずる	教育委員会出向(教育総務課主事)
	地域振興課主事兼 産業振興室産業係	
	兼 農業委員会出向	
新納 一基	総務課主事兼 総務室税務係	地域振興課主事 兼 産業振興室産業係
	兼 政策推進室財務係(財産管理)	
	兼 選挙管理委員会出向(書記)	
國生 康弘	土木交通課主事 兼 土木係 兼 水道係	総務課主事 兼 政策推進室企画消防係
	監査委員出向を免ずる	兼 監査委員出向(書記)
藏町 拓郎	兼 監査委員出向(書記)	総務課主事 兼 政策推進室企画消防係
谷村 竜己	十島村公益的法人等への職員の派遣等	地域振興課主事
	に関する条例及び同施行規則に基づき	兼 産業振興室産業係
	農事組合法人トカラ畜産へ派遣	
小出水 睦洋	定期船一等機関士 兼 機関長	定期船次席二等機関士
宮元 竹雨	総務課主事補 兼 政策推進室企画消防係	新規採用
牧元 敦志	教育委員会出向(教育総務課主事補)	新規採用
	出納員	
森永 涼子	住民課保健師	新規採用
	兼 健康福祉室介護係 兼 福祉係 兼 健康係	
日高 修二	定期船機関員	新規採用

## 鹿児島県との併任

中野 綾奈	村立診療所医師 に補する	(県立大島病院医師)
	住民課健康福祉室 勤務を命ずる	

## 地域担当職員のお知らせ

【口之島】	安藤 巧	【中之島】	永倉 智美	池田 直也	新納 一基
【平島】	有川 孝志	村山 勝洋	村山 勝洋	平田 直巳	肥後 勇喜
【小島】	山之内 容平	隈元 仁志	隈元 仁志	肥後 亘	中野 豪
【宝島】	本砥 貴子	森永 涼子	森永 涼子	藏町 拓郎	平山 太志
【鹿島】	牧元 敦志	安庭 智美	國生 康弘	國生 康弘	本砥 貴子

※青字は4月1日付での移動者

# 平成27年度における第1号被保険者の所得段階別保険料

段階	対象者	基準額に対する割合	介護保険料
第1段階	・生活保護を受けている人 ・世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金を受けている人または前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	0.45	年額 28,620円 月額 2,385円
第2段階	・世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万超120万円以下の人	0.75	年額 31,800円 月額 2,650円
第3段階	・世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が120万超の人	0.75	年額 44,520円 月額 3,710円
第4段階	・本人は住民税非課税者であるが、同じ世帯の中に住民税課税者があり、合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の人	0.9	年額 57,240円 月額 4,770円
第5段階	・本人は住民税非課税であるが、世帯内に住民税課税者があり、合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超える人	基準額	年額 63,600円 月額 5,300円
第6段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円未満の人	1.2	年額 76,320円 月額 6,360円
第7段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が120万円以上190万円未満の人	1.3	年額 82,680円 月額 6,890円
第8段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が190万円以上290万円未満の人	1.5	年額 95,400円 月額 7,950円
第9段階	・本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が290万円以上の人	1.7	年額 108,120円 月額 9,010円

第6期計画においては地域包括ケアシステムの構築を目指し、介護予防を含め支え合いの仕組みを展開していきます。



## 教職員異動のお知らせ

各島小中学校より転出される先生方、転入される先生方をご紹介します。転出される先生方におかれましては島の子ども達の為に一生懸命教鞭をとって頂き、ありがとうございました。新しく転入される先生方におかれましては、厳しい環境での生活となりますが、よろしくお願い致します。

学校名	転出者	転入者	学校名	転出者	転入者
口之島小学校	法花津 武正	知念 義光	悪石島小学校	林 眞平	森木 かずえ
	久徳 さゆり	久徳 さゆり		坂元 真奈美	齋藤 祐聖
	徳永 彩	徳永 彩	悪石島中学校	野本 正樹	川上 嘉一
口之島中学校	山元 あけみ	岡本 真人	宝島小学校 小宝島分校	下戸 勇介	梅木 裕二
	川畑 翔史			橋口 和真	前村 実佳
	上村 かすみ			湯元 千明	湯元 千明
中之島中学校	竹内 慶司	坂元 辰哉	宝島中学校 小宝島分校	岩下 雅子	大當 政文
平島小学校 諏訪之瀬島分校	白石 健二	右田 耕大		森 信浩	福田 美優
	満尾 志帆	深水 ゆりか			井手口 剛
	向吉 伽倫			竹山 アイミ	
平島中学校 諏訪之瀬島分校	峯元 夏実	野崎 結花	宝島小学校	浜田 勝也	瀬戸口 一郎
	岡山 達哉	川畑 翔史		前村 実佳	
平島小学校	田中 文彦	下川床 光浩	宝島中学校	浜口 美咲	坂口 裕美
	福元 香寿美	中村 茉莉帆			寺床 由紀子
	徳永 真琴	徳永 真琴			野村 優也
平島中学校	宮田 直彦	宮田 直彦		泊 翔太	
	東 志保	福元 香寿美		平崎 漢人	

## 退職職員のお知らせ

3月31日に職員4名が退職されました。長い間お疲れさまでした。

本年3月31日をもって、臨時職員としての期間も含め、25年4ヶ月間に渡り勤務させていただき、役場を退職いたしました。出来ることなら定年まで努めあげたいところでしたが、叶わぬこととなりました。今後も我がふるさと、生まれ故郷の十島村のために、微力ながらもお手伝いできれば幸いです。更なる十島村の発展と住民の皆様の御健康を祈念いたしまして退職の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

教育委員会課長 日高 広登さん



私は、この度3月31日をもって定年退職しました。フェリーとしまの乗組員として24年間乗船してまいりました。皆様方には大変お世話になり、本当にありがとうございました。これからの十島村のますますのご発展と皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

フェリーとしま 小湊 勝己さん

36年間の在職中は、住民の皆様に、公私にかかわらずひとかたならぬお世話になり、このたび定年を迎えることができました。本当にありがとうございました。地方創生の村づくりが、発展することを祈念いたしております。

土木交通課課長 久保 源一郎さん

皆様から、いつも温かい笑顔と優しさをいただきました。また季節の珍味も・・・♡

淋しくなりますが、いつまでもお元気でいてくださいませ。長い間、本当にありがとうございました。

住民課保健師 伊瀬知 智子さん

## 新規採用職員のお知らせ



今回、4月1日付けで採用になりました宮元竹雨と申します。名前は「たけふる」と読みます。由来は、「雨が降った後の竹の子のようにまっすぐ育てほしい」という意味だそうです。十島村の村民の方々のお役に立てるよう、これから頑張っていきたいと思っております。村民の皆様、よろしくお願い致します。

総務課 宮元 竹雨さん



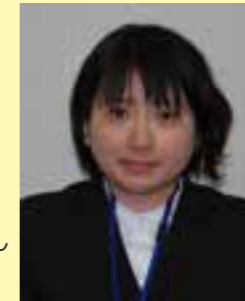
臨職中の6年と8ヶ月、職員や村民の方々には、たくさんの御厚情たまわりありがとうございました。今後はいち奉仕者として安心、安全に利用して頂けるよう務めたいと思っております。引き続き、御指導、御鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

フェリーとしま 日高 修二さん



巡回医師  
中野 緩奈さん

4月から大島病院より悪石島、小宝島、宝島で巡回診療に参加させていただくことになりました中野緩奈です。出身は鹿児島県西之表市です。よろしくお願い申し上げます。



住民課保健師  
森永 涼子さん

皆さん、はじめまして。4月から住民課で働かせていただくことになりました、保健師の森永と申します。一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願い致します。



教育委員会  
牧元 敦志さん

新規採用で教育委員会に配属になりました牧元敦志と申します。一つ一つの仕事に真摯に取り組み十島村職員として努力していきますので、よろしくお願い致します。



看護専門員  
高村 圭さん

5月1日付で代替看護師として採用されました。愛知の病院で働いていましたが、十島村の豊かな自然の魅力にひかれて応募しました。精一杯がんばりますので、よろしくお願い致します。



看護専門員  
馬籠 靖子さん

はじめまして。マゴメと読みます。十島村は初めてですが、島のことを知りながら、できることをお手伝いさせていただきます。していただけたらと思います。よろしくお願い致します。



看護専門員  
西田 淳子さん

4月から代替看護師として採用されました。看護師としては温室育ちで不安なことは多々ありますが、私なりに頑張っていきたいと思っています。お話をすることが好きなので、見掛けたら声を掛けて下さい。よろしくお願い致します。



保育専門員  
大園 佳奈さん

4月から子育て広場いまきら園の保育専門員として採用して頂きました。これまでの保育士の経験を活かして、子どもたちと楽しく遊び、保護者の皆様と一緒に成長を見守っていききたいと思います。よろしくお願い致します。



保育専門員  
前田 里恵さん

4月1日から宝島に保育専門員として赴任することになりました。宝島出身で故郷で働くことができる機会に恵まれ本当に感謝しています。子どもたちが笑顔で園生活が送れるように、一緒にがんばっていききたいと思います。



認知症  
地域支援推進員  
今田 フサ子さん

このたび「認知症地域支援推進員」として採用していただきました。口之島出身です。島への想いはずっと持ち続けておりました。子どもの声が聞ける住みなれた島で暮らし続けられる24よう支援できたらと思います。

## こんにちは♪ 赤ちゃん

### 十島村で生まれた赤ちゃんのご紹介



<p>中之島 小原澤良沖さんちの 良馬（りょうま）君 お誕生日： 平成26年9月23日</p> 	<p>宝島 本名一竹さんちの 福竹（ふくたけ）君 お誕生日： 平成26年7月10日</p> 
<p>宝島 竹内功さんちの 風太（ふうた）君 お誕生日： 平成26年3月11日</p> 	<p>宝島 中村太海志さんちの 琉花（るか）ちゃん お誕生日： 平成26年8月23日</p> 
<p>宝島 高木義浩さんちの 然年（さねん）君 お誕生日： 平成26年3月28日</p> 	<p>宝島 寺田美樹也さんちの 結樹（ゆづき）君 お誕生日： 平成27年3月11日</p> 

議案番号	件名	議決結果
議案第21号	平成27年度十島村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第22号	平成27年度十島村船舶交通特別会計予算について	原案可決
議案第23号	平成27年度十島村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第24号	平成27年度十島村介護サービス特別会計予算について	原案可決
議案第25号	平成27年度十島村簡易水道特別会計予算について	原案可決
議案第26号	平成27年度十島村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第27号	口之島運動広場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第28号	平島高原線道路改良工事請負変更契約の締結について	原案可決
議案第29号	十島村介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第30号	十島村大型洗濯施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第31号	十島村船舶使用料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第32号	平成26年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第6号)について	原案可決

☆ 表彰 ☆



鹿児島県町村議会議長会より、永年勤続議員（町村議会議員として15年以上在職した者）として、平泉二太議員と前田功一議員が表彰されました。

プロフィール(写真左)  
 氏名：平泉二太  
 所在：十島村中之島  
 議員歴：4期目(14年目)  
 役職：副議長、議会運営委員長



プロフィール(写真右)  
 氏名：前田功一  
 所在：十島村宝島  
 議員歴：4期目(14年目)  
 役職：常任委員会経済委員長、議会広報調査特別委員長

～議会運営委員会の様子～



平成27年3月議会 議会ライブ中継視聴者数(本会議)

- ・3月09日(月)・・・各島計16名 本庁傍聴者2名
- ・3月10日(火)・・・各島計13名 本庁傍聴者1名
- ・3月16日(月)・・・各島計15名 本庁傍聴者0名
- ・3月18日(水)・・・各島計11名 本庁傍聴者0名
- 合計55名 傍聴者合計3名

# 十島村議会

## ＝平成27年3月定例議会 議決結果＝

3月9日～3月18日(10日間) 34案件を審議

34件 全て全会一致で原案の通り可決しました。



議案番号	件名	議決結果
発議第1号	十島村議会議員の報酬等の特例に関する条例の制定について	原案可決
発議第2号	十島村議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第1号	十島村農業用施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第2号	十島村畜産施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第3号	十島村製氷施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	十島村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案第5号	十島村住民医療費の助成に関する条例、及び十島村敬老祝金支給条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	十島村消防団条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第7号	十島村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第8号	中山間ふるさと・水と土保全基金条例、及び十島村土地開発基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例	原案可決
議案第9号	十島村手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第10号	共同利用飼料機械倉庫の指定管理者の指定について	原案可決
議案第11号	平島南之浜地区製氷施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第12号	十島村共生型サービス拠点施設に係る指定管理者の指定について	原案可決
議案第13号	権利の放棄について(優良繁殖雌牛導入基金)	原案可決
議案第14号	十島村住民生活センターに係る指定管理者の指定について	原案可決
議案第15号	平成26年度十島村一般会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第16号	平成26年度十島村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第17号	平成26年度十島村船舶交通特別会計補正予算(第5号)について	原案可決
議案第18号	平成26年度十島村介護保険特別会計補正予算(第3号)について	原案可決
議案第19号	平成26年度十島村簡易水道特別会計補正予算(第4号)について	原案可決
議案第20号	平成27年度十島村一般会計予算について	原案可決



松下直志 議員

○松下議員 寄港順路変更に伴う一年間の実証試験運航も終了・検査済であるが一日も早い実現の決意を伺う。

○肥後村長 村として、航路補助を預かる責任者として、そして会計検査院の指摘がある以上、又他の6か島からも「早く実現せよ」と強い意見があることを考えた場合、この時期に二日間の説明会を実施した。苦渋の選択で厳しい状況にあるが、東之浜港の港整備を村の重要政策の一つとして、出来るだけ他島と同様な条件整備が村としての使命と感じている。

○松下議員 下3島への医師派遣は月2回計画されているが、悪天候の延期・欠航の場合、診療は中止となるが、直近の便を名瀬2泊便として各人が名瀬の病院で受診する方法は講じられないか。

航路順路変更・医療面の充実・多目的利用貯水施設の整備・教職員住宅について

○肥後村長 現在、上4島の診療は常駐医師が日程を組み、下3島は鹿児島赤十字病院が計画し進めている。中止の場合は、翌月、あるいは翌々月で日程調整をしている。直近の名瀬便を2泊にするのは、現状の航路の認可による問題から厳しいと考える。本年4月から県立大島病院に配置される医師が南部3島を隔週ごとに定期船で奄美から入り巡回診療を実施する。ななしまで島間を経由し、定期船で帰るスケジュールで現在調整中である。現行、月に1回ないし2回の診療が、奄美から入ることで、島によつては3回確保されるということになり、上4島の巡回診療を担っている日赤病院の常駐医師の診療回数よりも、医療の機会が増えることになると思われる。今後も医師の確保について積極的に働きかけていく。

○肥後村長 第三水源の簡易水道の経営変更認可が出次第、飲料水が集落に確保され、第一水源の山の水は、農業用水の専用での位置づけとされている。今年度、漏水調査及び沈殿物の対策も含めて進めたが、東の農業用水の整備をした場合、80万程度の経費の見込みであった。2箇所では、倍の経費が見込まれ、県へ相談し、土地改良施設維持管理適正化事業が可能との回答が得られている。事業の採択の見込みがあれば、現地調査をし、農家関係者、自治会も含め、協議の場になると思われる。その後、設計を踏まえ、28年度以降の5か年計画の中で進める考えである。

○松下議員 学校教職員用住宅の棟数は8棟で固定状態であるが、小・中全学級児童・生徒が在籍である場合は教員数は10人となるのに8棟の住宅数で入居可能との判断であるのか。県教委等の住宅設置基準があり住宅の増設ができないのか説明を求めます。

○教育長 教職員の配置は学級数にに応じて決定する。山海留学生在増加傾向にあり、留学生在の学年により学級数が増えることに伴い教員増が見込まれる場合がある。教職員住宅の老朽化や、長期間入居をしていない、または、入居できない教職員住宅を含めて、大規模な修繕工事が今後必要になると考える。国庫補助を活用する場合、建設年度に申請書を提出し、申請が認められた場合に事業を進めることとなり、2年がかりの手続きとなる。補助率は2分の1で、離島加算を入れても10分の5<sup>5</sup>となる。特定離島ふるさとおこし推進事業の活用であれば、補助率が80%と高いことや、村の財政が追いつかなかつたこと、また、国庫補助の場合、教員だけに入居が限られることもあり、制約なしに入居できる特定離島ふるさとおこし推進事業により建設された村営住宅の利用を行ってきた。教職員住宅の老朽化等から、今後は、国庫補助による住宅の建設も含めて、長いスパンの中で計画的に進めることを検討していく。

【地域創生総合戦略策定について】

○永田議員 平成27年度中の策定が求められている総合戦略について、戦略策定はどの様なタイムスケジュールで行われるのか。

○肥後村長 策定作業の着手は、国により提供される人口ビジョン、総合戦略の策定に必要な情報データの提供が4月を目処に始まることから、27年度4月からと考える。情報データを2ヶ月程度かけ分析し、6月を目処に「地方人口ビジョン」を策定。策定と同時に「総合戦略」の策定に着手し、半年程度をかけて、12月を目処に総合戦略の策定完了を予定とする。住民説明会、外部有識者会の実施等を予定している。



永田和彦 議員

○永田議員 平成25年度に策定された、第5次総合振興計画との連動性・整合性はどの様になるのか。

○肥後村長 「地方版総合戦略」においては、特に人口問題に特化した切り口から計画を展開していくものであり、総合振興計画と何ら反するものではなく、整合性がとられるべきと考える。

○永田議員 策定される総合戦略について、議会としても策定段階・効果検証段階において十分な審議を行う事を求められているが、どの様な形で策定・検証に關わる事を行政として議会に求めているかと考えているのか。

○肥後村長 議会に限らず、広く住民等の意見を反映した計画となるよう協議の場を設けることを要請している。議会との協議については、今3月議会において国から示された「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」の策定に關する内容及び、今後どのような取り組みが必要なのか等を説明し、協議を持ちたい。

【地域おこし協力隊員事業について】

○永田議員 それぞれの募集について、2月末及び5月末の応募が何件あつたのか。

○肥後村長 農業支援員は、21名の問合せ中4名の応募、高齢者見守り支援員は、8名の問合せ中4名の応募、子ども・子育て支援員は、現在4名の問合せ中、1名から応募がきている。

○永田議員 隊員の選考については、どの様に行われるのか。

○肥後村長 農業支援員は、第一に夫婦であり子供のいる世帯、第二に集落に馴染めるコミュニケーション能力のある方、第三に比較的若い世代の方々を優先基準として選考する考えである。高齢者見守り支援員については、ホームヘルパー2級以上又は介護福祉士、もしくは看護師の資格を有すること。子ども・子育て支援員では、保育士免許を有することの資格要件が選考基準となっている。

○永田議員 隊員が各島に配置された場合、隊員の身分はどの様になるのか。現業業務員・就労支援事業の対象者等との業務・身分等の違いや整合性など十分な説明が必要だと考えるが、どの様に考えるか。

○肥後村長 将来的に各島へ複数人の配置を検討している。27年度の募集は、農業支援員で3人を募集し、口之島・宝島・悪石島へ配置、高齢者見守り支援員は2人を募集し、村内の2島に配置、また、子ども・子育て支援員は2人を募集し、中之島に配置予定である。隊員の身分は、委嘱期間は1年、最長3年まで延長可能で、要綱に基づき村長が農業支援員、高齢者見守り支援員、子ども・子育て支援員として委嘱する。派遣地域の住民や団体を巻き込んで隊員の居場所の確保や複数の隊員を1地域に配置し、孤立化を緩和させ、任期終了後もその地域に定着させるために、少なくとも自分の生活費を稼ぐ仕組み作りをすることも検討していくべきと考える。

地方創生総合戦略策定・地域おこし協力隊員事業について

〈総務課〉

問 指定宿泊助成事業について

答 住民が非常に有効的に利用しており全廃は考えられにくい。高齢者層の年齢を上げて、村からの支援を抑えることも今後検討したい。

問 災害時の避難所設置について

答 備品等については昨年の避難実績、避難器具の資材等を調査し総合的に判断したい。

問 ふるさと納税パンフレットについて

答 ふるさと納税で大きな収入を上げている市町村を参考に特産品のカタログを製作する計画である。

問 インターネット回線について

答 4,000円の免除がなくなる予定であるが、当分の間は2,000円での据え置きを検討している。

問 職員指導について

答 一般職員の45%が20代となる。職員の問題にも真剣に取り組み、また、地方創生にかかる、本村での人口問題にも改善に向けて精進して参りたい。

〈教育委員会〉

問 山海留学制度について

答 当初16名で申請している。里親が高齢化になり受け入れが難しい面がある。親子や孫がきていただけるとは非常に精神的にも安定する。新たな方法を模索している。

問 文化財保護対策について

答 商標登録は、商品に対して登録するものである。タモトユリについては、地元のタモトユリ保存会で保存している状況であり、教育委員会は援助する形で、地元と協議し調査を実施したい。

問 土曜授業について

答 村は4月から実施する。同じ十島村でも島を隔てている関係で子ども達がテレビ会議を実施する際、一斉に行う時間がとれず苦勞している状況であった。今まで行っていた行事、特色ある活動を土曜日にもってこくることで、各学校がどのような計画を立ててくるのか楽しみである。



〈住民課〉

問 児童福祉手数料について

答 今年度からの宝島子ども・子育て支援拠点事業の手数料は、1名当たり1時間150円、2名以降70円、おやつ代が1名当たり1日50円を徴収予定。交付税の動向を見極めながら、子育て世代の経済的負担軽減措置を考える。

問 フト駆除について

答 危険な場所への散布も試みたが、労務費等の問題も懸念されるため、今後も再検討していきたい。中之島の水源地など、薬剤の投入ができない箇所もあり、27年度は、幼虫だけではなく成虫を駆除していく方向で、多客事前に成虫駆除剤の散布を試みたい。

問 介護体制の改善について

答 高齢者の温泉のふれあいの場を考慮した介護施設の新設にむけて検討していきたい。村内コミュニティバスの運行に関しては、現業員に委託する形となるが、温泉への移動用の便の定期的な運行時間を固定する必要がある。

問 国保の都道府県移管について

答 各市町村は国保の赤字が続いており、医療費の増額に対して、保険料が医療費に見合っていない現状である。本村の国保納税額の税率は、抑え気味にきているので実際の納税額は上がると思われる。

問 人間ドック費用助成費用について

答 申請件数は5件、実際に病院からの請求は1件のみである。事業の効率化を図るためにも、再度住民に周知していきたい。

〈地域振興課〉

問 地域おこし協力隊事業について

答 初めて導入することから、募集内容を詳細に再度募集をかけ直したい。今年度、当初4名で申請している。面談等も実施し、住宅関係も考慮しながらできるだけ複数名入りたいと考える。

問 就業者育成事業について

答 指導者の把握は、就業者が提出する就業業務従事記録簿の中で、指導時間、内容等で確認している。

問 定住促進住宅について

答 売却譲渡、自前で建てる支援策のあり方等再度検討したい。入居年数に応じて、家賃を上げるなど、対策も検討していきたい。

問 現業業務員について

答 スタートして1年経過したが、組織として確実に成り立っているとは言い難い。意見交換会は、全員参加として早めの周知を行う。

〈特別会計〉

問 トカラ観光プランについて

答 特別運航便については、事前に九州運輸局に運航計画変更認可申請を行っており、直前に船便を変更することはできない。通常便での口之島狂言ツアーと8月29日のボゼ出現にあわせたボゼツアーを検討している。

問 名瀬港の使用接岸について

答 名瀬港は改修工事中であり、佐大熊岸壁での係留許可をとっている。改修終了見込みは28年中であり、住民の利便性を考慮し新港岸壁への変更に取り組みたい。

問 漏水対策について

答 27年度の早期な施工実施に向けて、協議を進めていきたい。旧配管の確認及び撤去についての対策は、古い図面から拾いおこせるか懸念される。漏水箇所の確認が難儀であったのも、配水管の空気弁の数が少なく、漏水箇所の特定がしづらいとの意見であったため、業者と話を詰めていきたい。

〈土木交通課〉

問 港湾事業について

答 積極的に、県・九州・国主催の港湾関係の会合に出席している。県選出の国会議員へ村の実状を相談し拡充を訴えていきたい。専用の港の係留施設の整備をいずれはもっていくべきと考えている。

問 地籍調査事業について

答 国の方針も変わり、平成27年の予算も満額充てられていないため調査面積の減少が見込まれるが、田畑等個人の財産にかかるところから真剣に調査していきたい。



問 介護保険特別会計の現状について

答 施設に入れば給付費が上がるため、対策として、地域支援事業を導入し、スタッフ、現業業務員に積極的な協力依頼をし、知識を蓄えて戦力になってくれることを願う。最終的に、最後まで看取れるような介護体制を目指していきたい。現在の状況では、他島での小規模施設の設置は不可能。26年度では一般会計から2千万円を支出しており、国へ財源支援を依頼したが、断られた実態もある。今後は在宅介護が中心になっていくため保健師を4名体制に増やした。施設の新設については、現状と今後の対策について明確に示していきたい。

問 介護職員初任者研修養成講座受講について

答 ヘルパー希望の申請があった場合に行う体制である。約1か月以上の研修で資格を取得する。個人の資格という考えも含め、将来的に村のために戦力になってもらえるよう今後も積極的に呼びかけたい。



# 村営定期船 フェリーとしま

平成 27 年 06 月運行予定

※平成 27 年 4 月 1 日以降の鹿児島港発の出港便より  
運航ルートが変更になります。【下記参照】

鹿児島 ← 十島村 ↔ 名瀬



十島村 土木交通課 航路対策室  
TEL: 099-222-2101  
フェリーとしま  
TEL: 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
予 定	出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出		入		出	
便 区 分	名瀬便				名瀬便			名瀬便			名瀬便(臨時便)			名瀬便			名瀬便			名瀬便			名瀬便			名瀬便			名瀬便	

※寄港順路は、鹿児島⇨口之島⇨中之島⇨諏訪之瀬島⇨平島⇨悪石島⇨小宝島⇨宝島⇨名瀬となっております。

平成 27 年度 4 月末現在

<b>介護保険料</b>	<b>国民健康保険税</b>	<b>水道使用料</b>	<b>軽自動車税</b>	<b>固定資産税</b>	<b>村県民税</b>
未納額 112 千円	未納額 697 千円	未納額 265 千円	未納額 40 千円	未納額 940 千円	未納額 310 千円

村税等各種料金の  
100%収納完了に  
ご理解とご協力をお  
願いします。

お願い致します。

滞納税等のある方は、  
早急且つ確実に納入して  
いただきますよう宜しく  
お願い致します。

納税はお済みですか！  
本村において、貴重な  
自主財源である村税等各  
種料金の滞納や、義務を  
果たさず、権利だけを主  
張する滞納者を放置して  
おくことは、村財政に悪  
影響を及ぼすだけでなく、  
納期限内に納付し、  
遅延無く納税義務を果た  
された大多数の皆さんに  
対して公平性を欠くこと  
になります。

## 「広報としま」に掲載する

写真 & イラストを  
募集しています！

あなただけの十島を  
皆で共有しましょう！

▼詳しくは、下記までお問い合わせください。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係  
〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15 tel:099-222-2101  
よろしければ皆様のご意見・ご感想をお聞かせください。

## 十島村の人口・世帯数 平成 27 年 4 月末現在

島名	男性	女性	人口	世帯
口之島	60	66	126	75
中之島	89	70	159	89
平島	36	31	67	37
諏訪之瀬島	39	33	72	33
悪石島	30	33	63	32
小宝島	30	29	59	33
宝島	69	63	132	76
合計	353	325	678	375